

消費マインドはほぼ横ばい

熊本の今後半年間の消費予報【要約】

消費予報の指標としている「景気」、「暮らし向き」、「収入」、「支出意欲」の“見通し”をみると、「景気」見通しDIは前回調査を2.3ポイント上回る+12.8であったが、他の3つの見通しDIはいずれも前回を下回った。「暮らし向き」見通しDIは前回を4.7ポイント下回る-31.6で、2期連続改善とはならなかった。「収入」見通しDIは5期連続改善傾向が続いていたが、前回を4.7ポイント下回る-12.9であった。また、「支出意欲」DIは前回を1.7ポイント下回る-33.9で、2期連続してわずかに悪化した。

来年1月から実施される定率減税の半減など今後の負担増が予想されるためか、景気の見通しは前回より上向いたものの、消費マインドを好転させるには至らなかった。消費マインドは前回に引き続き慎重さがうかがわれる結果となった。

【調査概要】

対象：熊本市在住の20代から60

代の女性モニター500人

有効回答数：453人

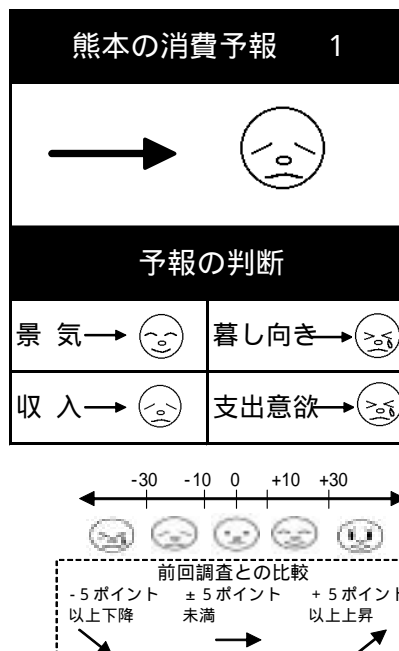
調査時期：平成17年10月27日

～11月4日

調査方法：郵送法

回答者の属性

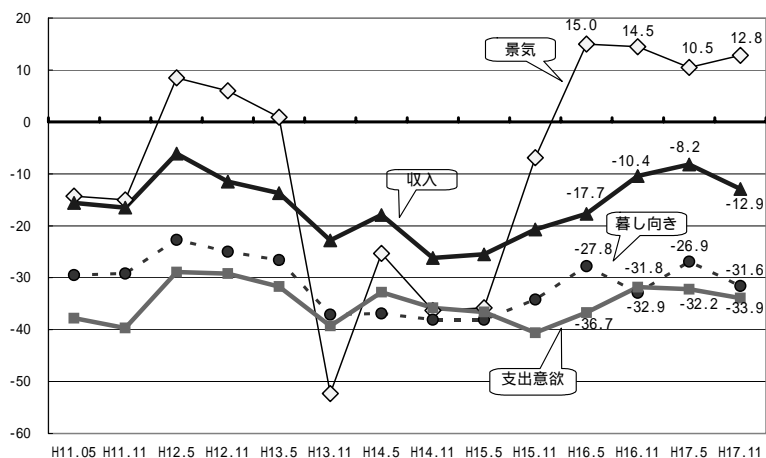
年齢別		
年齢	実数	%
20代	54	11.9
30代	107	23.6
40代	92	20.3
50代	91	20.1
60代	109	24.1
合計	453	100.0



1 消費予報の読み方

本調査では、消費マインドに影響する『景気』と『暮らし向き』と『支出意欲(支出の引き締め)』に対する意識、実際の消費に関わる『収入』の増減の、4つの項目について今後半年の見通しを質問している。数値(DI)は、「良くなる(増えそう、緩める)」と回答した人の割合(%)から、「悪くなる(減りそう、引き締める)」と回答した人の割合(%)を引いて算出した。4つの項目と『支出』から総合的に判断し、熊本の消費の予報を試みた。

【今後の見通しDIの推移】



景気の見通し

今後半年間の景気見通しDIは+12.8で、前回は2.3ポイント上回り、引き続きプラス水準であった。また、日本企業の元気DI(「(少し)元気が出てきた」-「(少し)元気がなくなった」)も+40.1と過去最高の水準となった。自由回答でも企業の業績回復や求人増、株価上昇などの記述が多かった。

[景気の見通しDI]

DI=(「良くなる」+「まあ良くなる」)-(「悪くなる」+「やや悪くなる」)

→ 	今回		前回 (H17.5)	前々回 (H16.11)
	(H17.11)	前回比		
全体	12.8	2.3	10.5	14.5
20代	22.1	3.0	19.1	22.2
30代	11.3	-4.1	15.4	2.2
40代	6.6	-5.5	12.1	19.1
50代	12.1	11.0	1.1	13.5
60代	15.9	9.5	6.4	16.3

暮らし向きの見通し

暮らし向きの見通しDIは、前回は4.7ポイント下回る31.6で、前回改善傾向を示したものの、再び悪化した。また、物価の上昇が家計に与える影響が「やや大きくなった」「大きくなった」という回答は23.9%から33.7%へと増加した。自由回答では、社会保険料やガソリン価格の値上がりに加え、今後予定されている医療費負担増や消費税引き上げの影響を心配する内容が多かった。

[暮らし向きの見通しDI]

DI=(「良くなる」+「まあ良くなる」)-(「悪くなる」+「やや悪くなる」)

→ 	今回		前回 (H17.5)	前々回 (H16.11)
	(H17.11)	前回比		
全体	31.6	-4.7	26.9	32.9
20代	16.7	9.3	26.0	31.9
30代	21.5	2.2	23.7	31.5
40代	37.0	-4.4	32.6	32.9
50代	37.1	-9.1	28.0	31.4
60代	39.6	-14.9	24.7	36.2

収入の見通し

今後半年間の収入見通しDIは前回は4.7ポイント下回る12.9となり、3年ぶりの悪化となった。すべての年代において前回は下回っており、また年代が上がるほどDIの水準は低くなっていた。

[収入の見通しDI]

DI=「増えそう」-「減りそう」

→ 	今回		前回 (H17.5)	前々回 (H16.11)
	(H17.11)	前回比		
全体	12.9	-4.7	8.2	10.4
20代	0.0	-1.4	1.4	5.6
30代	5.6	-2.5	3.1	2.3
40代	9.9	-9.9	0.0	5.3
50代	18.7	-0.7	18.0	13.5
60代	24.1	-5.7	18.4	22.7

支出意欲(支出の引き締め具合)

今後支出を緩めるかどうかをみる支出意欲DIは、前回は1.7ポイント下回る33.9で、やや悪化した。年代別にみると20代は26.0で前回は12.3ポイントと大きく上回ったが、それ以外のすべての年代で前回は下回った。自由回答では、収入も増えそうもない上に子供の成長に伴って教育費や食費などが増えるから、あるいは保険料や税金の負担が増えそうだからという回答が多く、またそうした将来に備えて貯蓄を増やしたいという回答も目立った。

[支出意欲DI]

DI=(「緩める」+「少し緩める」)-(「少し引き締める」+「引き締める」)

→ 	今回		前回 (H17.5)	前々回 (H16.11)
	(H17.11)	前回比		
全体	33.9	-1.7	32.2	31.8
20代	26.0	12.3	38.3	36.2
30代	36.5	-7.9	28.6	41.6
40代	39.1	-1.7	37.4	30.8
50代	35.6	-1.9	33.7	27.0
60代	29.6	-4.9	24.7	25.3